

# 興道 休まず 心をこめ 力をあわせて やりとげよう

## 夢・チャレンジ!

浦庄小学校校長室だより  
令和3年11月10日発行

コロナウイルス対策のため、昨年度に引き続き旅行先を徳島県内に変更して実施しました。ふるさと「徳島」の魅力を見学や体験をとおして再発見できた旅でした。添乗員やバスガイドの方も、土産を買うことのできる場所を時間に合わせて提案してくださったり、子どもからの質問に快く答えてくださったり、心に残る素敵な旅行となるように、様々な配慮をしてくださいました。旅行の様子を紹介します。

10月28日（木）待ちに待った修学旅行。式の後、保護者の方や教頭先生の横断幕に見送られての出発です。



バスの中ではレク係が大活躍。



観潮船乗り場で最初の買い物タイム。



鳴門海峡、スリル満点。



エディでもいろんな展示物を見ることができました。



鳴門大橋をバックにハイ、ポーズ。



お楽しみの昼食。ご飯のおかわりもたくさんしました。



食後のアイスクリームも絶品。



渦の道も迫力がありました。班活動で回ります。ガラスの下は鳴門海峡、こわごわのぞいています。



大谷焼の絵付けを体験。思い思いに描いています。



1番札所、霊山寺。



三枝の松葉を財布に入れて。



どんな願いをしているのでしょうか？



※裏面に続く

【バスレク】「添乗員さんに、質問」今年デビューされたばかりの添乗員さん。質問に優しく丁寧に答えてくれました。

Q: どうして添乗員になったのですか A: 小・中の修学旅行が楽しくて、旅行の仕事につくことが夢でした。

Q: 添乗員になるには、どんな勉強が必要ですか A: 旅行の企画や準備などの勉強をしました。

Q: おすすめのスポットは？ A: 私の出身地の尾道です。ラーメンもおいしいし、映画のロケ地としても有名です。

Q: 好きなプロ野球の球団は？ A: 福岡ソフトバンクホークスです。(この後スポーツの話で盛り上がりました。)

Q: 修学旅行で心に残っていることは？ A: 浦庄が4校目です。先週の眉山が寒かったです。

Q: 苦労することは？ A: 食事の手配や見学先の調整などが大変です。

Q: やりがいを感じる時はどんなとき？ A: お客様が「楽しかった」「また行きたい」と行ってくださると嬉しいです。



技の館では、藍染めの体験。疲れも見せず真剣に染めています。素敵なハンカチに仕上がりました。



ホテルでの夕食。ナイフとフォークの前に緊張気味。自由時間、持ち寄ったゲームを楽しみました。



ホテルの部屋でリラックス。ゆっくり眠れますように。朝早くても準備はバッチリ。



29日（金）最初の目的地はラピス大歩危。妖怪とご対面。石の博物館では、石でできた楽器も演奏。



祖谷のかすら橋。恐る恐る渡る子、余裕の表情を見せる子、いろいろでしたが無事全員渡りきりました。



あめごの塩焼き、祖谷そば、刺身こんにゃく、郷土食に舌鼓。



お土産もしっかりゲットしました。



大歩危の船下り、祖谷の自然を満喫。色づき始めた木々、鳥や魚、地層の模様、見るもの見るものに感動！



最後の見学地、うだつの町並み。



帰校式、挨拶もバッチリ!!



霊山寺での集合写真